

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2024年5月8日
作成 高齢者支援センター	南第1
作成者	山岸理絵

1.開催日時	2024年4月30日	(火)	14:00	~	15:30
2.会場	南市民センター 第2会議室				
3.主催センター	南1				
4.参加人数	31人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 4人		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 11人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 民生委員 3人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 2人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input type="checkbox"/> 行政 4人		
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
6.開催テーマ	アルコール問題を抱える方に必要な支援を考える				
7.地域課題	(1)課題設定の背景 コロナ禍を経てアルコールに関する問題が表面化。CM勉強会を経て当事者、家族、支援者がアルコール問題を抱え、困っている実情を把握。昨年の地域ケア会議を経て地域で生活を継続するには医学的な面からのアプローチと在宅との双方で支える仕組みが、南地域に不足している。				
	(2)検討した地域課題 現状、町田市内においてアルコール問題を抱えた当事者・家族や、それを取り囲む支援者の相談できる機会が不足している。また、支援体制も不十分な実情がある。アルコール問題を抱える当事者を在宅で支えるため、地域で支援する仕組みをどうつくるかが課題となっている。				
8.会議の内容	アルコール問題に悩む当事者や家族が相談できる場所が遠い、同じ悩みを共有する場所や機会がないなど、問題が深刻化してから表面化するなどの事例が増えている。アルコール問題を抱える方への支援の難しさから、新たな知識を習得し、各専門職の対応力向上をはかり当事者、家族、支援者への中長期的な支援に繋げることが必要である。 よしの病院 河本医師をスーパーバイザーに迎え支援者間で課題解決のためのグループワークを実施。<テーマ>支援者・参加者それぞれの立場から地域でアルコール問題を抱える当事者、支援者を在宅で支えるための仕組みをどうつくるか、どのようにアプローチをかけるか検討する。・河本医師からの総評、まとめ、質疑応答 アルコール問題の対応策として、専門職がスキルアップを図り、当事者、家族と良い信頼関係を保ち、良い支援に繋げていくために今後もこのような意見交換や情報共有の機会を持ち続けることが必要であると意見が出た。				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	今後の展開としては、地域ケア推進会議ではなく、アドバイザーである河本医師と共に事例を通してアルコール問題を抱える当事者に対して、ご家族や関係者、専門職が良い距離間で信頼関係を築いていく方法について学ぶこととなった。				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	5月 8日
--------------------	-------